

みんなで支え合い、一人ひとりが大切にされる地域福祉
だれもが安心・安全に暮らせる地域社会をめざして

かすや社協だより

“KASUYA Newsletter” from KASUYA Council of Social Welfare



▲福祉体験学習のようす



▲軽運動・趣味の教室 囲碁サークルのようす

粕屋町のふくしを支えよう

10月から始まる赤い羽根をシンボルとした「共同募金運動」の今年度のテーマは「支える人を支える募金」です。

粕屋町の「ふだんの 暮らしの しあわせ」を支え、誰もが安全・安心に暮らせる粕屋町を目指しています。

お寄せいただいた募金は、粕屋町をより良くする取り組みに使われています。粕屋町でどのように使われているのか、詳しくはP3をご覧ください。

本年度も皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

TOPICS

- 2 共同募金が始まりました
- 3 粕屋町の共同募金の使いみち
- 4 教育支援資金貸付
- 5 生活支援体制整備事業
- 6-7 社協ダイアリー
- 8 お知らせ



共同募金が始まりました

Start of Central Community Chest

今年も10月1日から赤い羽根をシンボルとした「共同募金運動」が始まりました。

皆さまからお寄せいただいた大切な募金は、粕屋町をよくするために役立てられます。

皆さまからのご協力に心から感謝いたしますとともに、本年度も一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

赤い羽根キャッチフレーズ

『この羽根で しあわせつながる 助けあい…赤い羽根共同募金』 北九州市立曾根東小学校 4年 なかむら りく 中村 陸 さん
令和7年度赤い羽根キャッチフレーズの最優秀作品

いろいろな募金方法

窓口で直接持参する

共同募金会粕屋町支会の窓口(粕屋町福祉センター)で募金を受付けています。

振込で募金

最寄りの金融機関からお振込みいただけます。

【受入口座】

粕屋農業協同組合 仲原支所 普通 8309787

福岡銀行 粕屋支会 普通 235753

西日本シティ銀行 粕屋支店 普通 1088875

【口座名義 各金融機関 共通】

キョウドウボキンカイ カサヤマチシカイ

スマートフォンで募金する

左下の二次元コードをご利用ください。

寄付付きバッジ募金

500円以上の募金でバッジを1個お渡しします。福岡ソフトバンクホークス球団マスコットのハリーホーク等とコラボしたデザインです



寄付金付き図書カード・クオカード募金

1,000円以上寄付された方にお渡しします。(1枚500円分)

街頭募金で募金する

今年度もイオンモール福岡で街頭募金を行います。お買い物の際お会いできましたら、ご協力をお願いいたします。

【日時】 ①10月1日(水) 17:00～ ②10月18日(土) 12:00～

※天候により、街頭募金を中止する場合があります。中止の際は、粕屋町社協HPやFacebookでお知らせします。

共同募金を通じたご寄付には、税制上の優遇措置があります。

詳しくは右の二次元コードをご覧ください。

共同募金は、上記以外でも戸別募金や学校募金など、様々な形で募金を呼びかけております。

今日までの町民の皆さまのご協力に感謝いたしますとともに、本年度も一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



スマートフォン
二次元コード
はこちら →



共同募金会 粕屋町支会

【住所】 粕屋町長者原東6丁目5番10号 粕屋町福祉センター内

【電話】 092-938-6844

【時間】 8:30～17:00(土・日・祝日を除く)

粕屋町の共同募金の使いみち

Central Community Implemented Project

共同募金配分金で行われている事業の一部をご紹介します。

軽運動・趣味の教室の開催

高齢者の生きがい、健康、仲間づくり、介護予防を目的に、教室・サークル活動を開催しています。

開催中の教室・サークル

カラオケA・B教室、男性のそば打ち体験講座(上級・中級)
手芸(編み物・小物)サークル、ヨガセラピーサークル(朝・昼・チェア)、囲碁サークル



▲カラオケA教室のみなさん

ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業

75歳以上のひとり暮らし高齢者(要件あり)に対する見守り活動として、「かすや社協通信たよりあい」と心ばかりの贈り物、そして返信ハガキを添えて、民生委員・児童委員さん、福祉委員さんにご協力いただいて対象者へ個別訪問を行い、配付しています。(年9回)

対象者 120名



7月は冷感タオルを贈りました



子育て応援サロン(療育児・親子サロン)

作業療法士や臨床心理士等による発達障がいのある子ども(未就学児)の療育と、大学生ボランティアの協力を得ながら、親同士の交流を目的とした子育て応援サロン(療育児・親子サロン)を毎月1回開催しています。



総合学習支援

学校での福祉教育のプログラムづくりの協力や福祉資材の貸出、講師の派遣等、人的な支援を行っています。

開催日

令和7年5月13日(火)

場所

福岡県立
福岡魁誠高等学校



社協だよりの発行

社協の事業などに関し、幅広く広報をするために、全戸配付を行っています。(年3回)

福祉協力校活動の支援(町内小・中学校、高等学校)

福祉協力校として活動をすすめる小学校(4校)、中学校(2校)、高等学校(1校)と連携を図りながら、福祉教育や校外活動に対して補助金をお渡ししています。

福祉研修会の開催

区長、民生委員・児童委員、福祉委員、社協役員等の福祉に関する意識向上のために研修会を行うことで、地域において相談支援に携わる人たちが、身近な相談相手となるように開催しました。

演題 「心の声に耳を澄ます ～地域のつながりは“聴く”ことから～」

講師 FFAフォローシップ協会 理事 須崎郁也 氏

日時 令和7年6月14日(土) 10:30~11:40



入学金や制服代が足りない

教育支援資金貸付

授業料の費用を借りたい

Educational Support Fund Loan

～学資の備えは大丈夫ですか？ 進学を応援します～

この貸付は、「生活保護世帯」、市町村民税が「非課税世帯」など低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高等学校、短大、大学、高等専門学校に就学するのに必要な経費を無利子でお貸しする制度です。

公的奨学金などの貸付制度を優先して活用していただきますが、すぐに活用できない場合に、それまでの「つなぎ」として貸付を行います。返済は卒業後に始まります。重複して借入れされる場合(例:高校時と大学時)は、返済計画について十分ご検討のうえお申し込みください。

資金の種類と金額

① 教育支援費 (主に授業料)

進学先	貸付限度額
高等学校	月額35,000円以内
高等専門学校	月額60,000円以内
短期大学 (専修学校専門課程を含む)	月額60,000円以内
大学	月額65,000円以内

② 就学支度費 (入学一時金等)

貸付限度額	500,000円以内
-------	------------

- ①は、授業料等です。特別な事情がある場合は、貸付上限額は1.5倍まで認める場合があります。
- ②は、入学一時金や制服代等です。

※申請金額は千円単位です。

返済方法・返済期間

返済方法は、基本、指定口座からの引落としになります。

返済は卒業後6か月経過後、20年以内でお返しいたします。

注意事項

- ・公的奨学金などが優先です。
- ・生活福祉資金は「貸付制度」であり、返済の義務があります。
- ・最短修業年限が貸付期間です。留年の学年の費用は原則、対象になりません。
- ・生活保護世帯の方につきましては、まずはケースワーカーにご相談ください。
- ・福岡県社会福祉協議会が審査を行いますので、貸付、決定には一定の期間(申請から約1ヶ月)を要します。
- ・弊会での本人と保護者の面談があります。
- ・貸付要件があり、審査結果によっては貸付に至らない場合もあります。

貸付・償還までの流れについて

1	電話予約	お電話で相談のご予約をお願いいたします。
2	相談・申請書の記入方法の説明	相談により適切と判断した場合、借入申込書をお渡しし、記入方法等の説明を行います。
3	書類の準備	借入申込書に記入し必要書類をご準備ください。
4	申込み	借入申込書・必要書類を粕屋町社会福祉協議会へご提出ください。その後、弊会より福岡県社会福祉協議会に提出します。
5	審査	貸付について、福岡県社会福祉協議会で審査を行います。審査中に追加聞き取りや書類の提出等をお願いする場合があります。
6	貸付決定	貸付の可否についてご本人様宛に連絡をします。審査の結果により貸付できない場合があります。
7	借用書作成	借用契約を結びます。
8	資金交付	資金が交付されます。
9	措置期間	当該の学校を卒業後、6か月は措置期間になり、その翌月から返済が始まります。
10	返済(償還)	毎月1回、原則として金融機関から口座引落としによる返済になります。
11	返済完了	貸付決定時に定め、借用書に記載されている返済期間・回数で返済していただきます。

1か月程度かかります

お問合せ先

まずは、粕屋町社会福祉協議会にお電話でご相談ください。

社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会

【住所】粕屋町長者原東6-5-10

粕屋町福祉センター内

【電話】092-938-6844

【受付】8:30～17:00(土・日・祝日をのぞく)

生活支援体制整備事業

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく生活していくために、ちょっとした困りごとでも地域の中で解決できるような支えあいの地域づくりをめざします。



高齢者が安心して暮らせる粕屋町をめざして
かすや支え合い通信



生活支援コーディネーターが、粕屋町の人・場所・活動をもっと知るために
に出向き、出会い、ご紹介します。

第13号

地域福祉の推進 ▶ 見守りマニュアル

生活支援体制整備事業では、地域の関係者が集まる「協議体(話し合いの場)」を通じて、高齢者などが安心して暮らせる地域づくりを進めています。昨年度は、見守り活動について話し合いを重ね、日常的な見守りや声かけによる安否確認などをまとめた「見守りマニュアル」を作成しました。現在、このマニュアルを活用しながら、見守り活動をさらに広げるため、モデル地区を指定して取り組みを進めています。



見守り活動に参加してみませんか？

令和7年度は、見守り活動に参加していただける地区を募集しています。まずは「地区座談会」を開催し、見守り活動について一緒に考えてみませんか？地域のつながりづくりの第一歩として、皆さまのご参加をお待ちしています。

- 活動内容** 地域での見守り活動
(見守り・声かけ・安否確認など)
- 対象** 各行政区単位での参加
- 参加方法** 詳しくは、弊会までお問合せください



団体紹介 ▶ 福岡県高齢者福祉生活協同組合 めくもり事業所 地域サロン活動

地域サロンでは、裁縫、縫物、習字、藍染、リメイクなど、さまざまなものづくり活動に取り組んでいます。YouTubeやSNSを活用しながら、アイデアを膨らませています。また、完成した作品は年に数回、展示・出品しています。作品の中でも、丁寧に手縫いされたカラフルな雑巾が人気です。



- 活動日** 月曜日(隔週)
- 時間** 10:00~15:00
- 場所** デイサービスセンター
めくもり2階
- 対象** どなたでも可能

和気あいあいと
楽しみながら作っています♪

素敵な作品でした... ✨
皆さま、ありがとうございました！



※生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれています。生活支援・介護予防の活動を知る・つくる・つなげるなどして、高齢者が暮らしやすい地域づくりを住民の皆さまと一緒に進めていきます。

社協ダイアリー

Kasuya Council of Social Welfare Diary

社協ダイアリーは、「粕屋社協の日常」をお伝えするコーナーです。
日頃の活動や事業のこと、働いている人の声、ご登録いただいている団体の活動などをご紹介します。
少しでも、みなさんの暮らしに身近な存在になれば嬉しいです。

ご寄贈ありがとうございます。

- ・非常食 200食 多の津区さま
- ・お米 20kg こくみん共済coop 福岡推進本部さま
- ・ドライカレー 95食・栄養補助食品 95食・水 360本 匿名

お願い 備蓄している防災非常食などで賞味期限が間近のものがあれば、弊会に寄贈いただけませんか。寄贈いただいた食品は、弊会を通じて、生活に困窮されている方や関係機関へお渡ししています。ご協力いただける際は、事前に弊会までお電話いただき、福祉センターまでお持ちくださいますようお願いいたします。

寄贈をお願いしたい品物 ・お米、レトルト食品、缶詰 など ・未開封のもの ・賞味期限が **3か月以上**あるもの

※受け取り先の調整がつかない場合は、お断りする場合がありますのでご了承ください

ダーツ教室 生徒募集

11月からダーツ教室を開催します。
参加ご希望の方はお電話でお申込みください。

日程 11月14日(金)・28日(金)
12月12日(金)・26日(金)
※1月以降の日程はお問合せください

時間 13:15~15:15

場所 粕屋町福祉センター 研修室C

年齢 60歳以上

月謝 月1,000円

講師 NPO法人福岡県ダーツ協会

内容 ルール説明、ゲーム(カウントアップ、アンダーザハット)

お問合せ先 粕屋町社会福祉協議会(092-938-6844)

皆さまのご参加をお待ちしております。



福祉体験学習の開催

乙仲原西区の寺子屋で福祉体験学習を行いました。
子どもから大人まで体験をすることで、高齢者や視覚障がいのある方の気持ちを考え、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとなりました。

日時
令和7年9月13日(土)
10:00~11:30

場所
乙仲原西区公民館

内容
高齢者疑似体験
アイマスク体験



ボランティアだよりが発行されました

ボランティアだよりとは、粕屋町ボランティア連絡協議会が発行している広報誌です。福祉センターに掲示、設置しておりますので、ぜひご覧ください。

社協HPからも
ご覧になれます



チャリチャリが福祉センターに設置されました

粕屋町では、脱炭素の取組の一環として赤い自転車のチャリチャリ株式会社と2025年3月25日に協定を締結し、4月1日より、シェアサイクルの実証実験を開始しています。
福祉センターにもチャリチャリが設置されました。ぜひ、ご利用ください。



こんにちは！私たちは社会福祉士を目指しています！

実際に私たちが粕屋町社会福祉協議会で行った実習内容を紹介합니다！



フィールド調査

フィールド調査では、実際に地域に出て、町の様子の確認や町民の方へのインタビューを行いました。町に足を運ぶことで、調べるだけでは分からない地域の活動や魅力に気づくことができました。フィールド調査を通して、粕屋町の中でも地域ごとに特色やニーズが異なるため、どのような支援が必要なのか具体的に考えることが出来ました。

民生委員・児童委員さんへのインタビュー

民生委員・児童委員さんは、高齢者や児童などの地域の見守りや、地域の困り事を社協や行政に繋ぐ役割を担っています。インタビューから、実際に民生委員・児童委員さんのおかげで地域の方が安心して暮らしていることを実感しました。これから民生委員・児童委員さんと共に地域住民みんなで支え合い、地域を見守り、より良い地域をつくれるといいなと思いました。



電話訪問

電話訪問はしおんの会の方がボランティアで、高齢のひとり暮らしの方等の見守りを行っています。実際に電話をかけた際に、日々のあれこれを楽しくお話していただき、利用されている方の楽しみにもなっていることが分かりました。この活動を通して、人のぬくもりに触れ、地域で支え合いつながることの大切さを実感しました。

最後に 実習を通して粕屋町の良さや住民の皆さんの温かさに沢山触れました。

ここでの経験を活かして、地域に貢献できる社会福祉士に必ずなります！ありがとうございました！

弊会では、社会福祉士の資格取得を目指す学生・社会人を毎年数名受け入れています。これは、福祉業界の一員としての努めでもあり、福祉業界を目指す学生・社会人の助力になればと思い、取り組んでいます。また、実習生を受け入れることで、弊会の事業内容などの改善に役立てており、お互いが切磋琢磨できる関係づくりを目指していきます。今年度も8月から9月にかけて、5名の実習生を受け入れました。

中学生の職場体験

開催日 令和7年9月10日(水)・11日(木) **参加者** 粕屋東中学校の生徒7名

内容 ひとり暮らし高齢者に向けた「たよりあい」の準備
車椅子点検、アイマスク体験や高齢者疑似体験

職場体験を行った感想

- ▶ 高齢者の方の感覚を体験することができました。
自分が年をとったときにされたいことを高齢者にしていきたいと思ひます。
- ▶ 車椅子に乗って、自分でこいだり、段差を上がるときに、後ろから持ち上げてもらうのが怖かったです。アイマスクをつけ、白杖をもって、歩くときも、どこに何があるのか分からない状況で、1人で歩くのは難しいし、誰かの声かけがあるだけで、安心感も得られるから、声かけを大切に生活していきます。



お知らせ

2025.10-2026.2

粕屋町社会福祉協議会 公式ホームページ

<https://kasuya-shakyo.jp>

最新情報は、随時ホームページでお知らせします。



心配ごと相談所の開設

10/7、10/21、11/4、11/18、12/2、12/16、1/6、1/20、2/3、2/17

日常生活の悩みや心配ごとなど、弁護士に直接お会いして相談できます。(無料)

開設時間:10時~12時(基本、随時受付。最終受付時間:11時30分まで)

※一部予約制(10時と11時)

対象者:町内在住者(裁判所で訴訟中、弁護士に依頼済みの方は受付不可)

声の広報お届けします

大切な情報を声でお届けしています。音訳ボランティア「ぱーる会」が音訳し、CDやそのまま聞ける再生プレーヤーを貸し出します。社協だより、広報かすやを読むことが難しい方はお問い合わせください。

ふだんのくらしのしあわせ

何気ない毎日に感じる嬉しいことほっこりすることを募集しています。

今回はたよりあいプロジェクトの対象者の方の「ふだんのくらしのしあわせ」をご紹介します。

夜間よく眠れた夜明けにベランダを開け、ひんやりした新鮮な空気と小鳥の鳴き声にほんの一時ですが幸せを感じます。

毎日元気にご飯を食べて過ごせることが幸せです。

最近TVで保護猫・犬の動画を見ていると自然と笑みがこぼれて気持ちが「ホッ」とします。

朝と夕方お花に水をやりながら早く咲いてね、きれいに咲いてねと言いながら楽しみにしています。朝起きて花が咲いている時は本当に嬉しいです。ありがとうございますと言います。

皆さまの「ふだんのくらしのしあわせ」や、本誌の感想等を教えてください。住所、氏名、年齢をご記入の上、はがき・封書・webフォーム・FAXでお寄せください。

(応募先はこのページの最下段に記載。令和7年12月31日締切)

本誌やホームページで紹介させていただきます。(住所や氏名は掲載しません)

WEBフォーム
はこちら→



エンディングホール かぞくの心

まずは斎場のご見学から

ご不明な点・ご質問など
お気軽にお問い合わせください。

現地にて
事前相談
承ります



やすらぎ会館 かすや斎場
福岡県糟屋郡粕屋町戸原西1-13-1 (JR伊賀駅前)

☎092-931-3533

原町駅前交差点を伊賀駅方面へ車で約5分



詳細MAPは
コチラ



社協だよりや弊会サイトに掲載する広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

発行 | 社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会 (令和7年10月発行)

住所 | 〒811-2317 粕屋町長者原東6-5-10 粕屋町福祉センター内

電話 | 092-938-6844 | FAX | 092-938-6886 (受付時間 8時30分~17時 土・日・祝日をのぞく)



この社協だよりは共同募金配分金によって作成されたものです。